３－４　関東地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kanto District

国土地理院

Geographical Survey Institute

第 1 図は，東京原点から藤沢市にかけての路線における水準測量結果である。この路線では，ここ数年大きな変動はない。

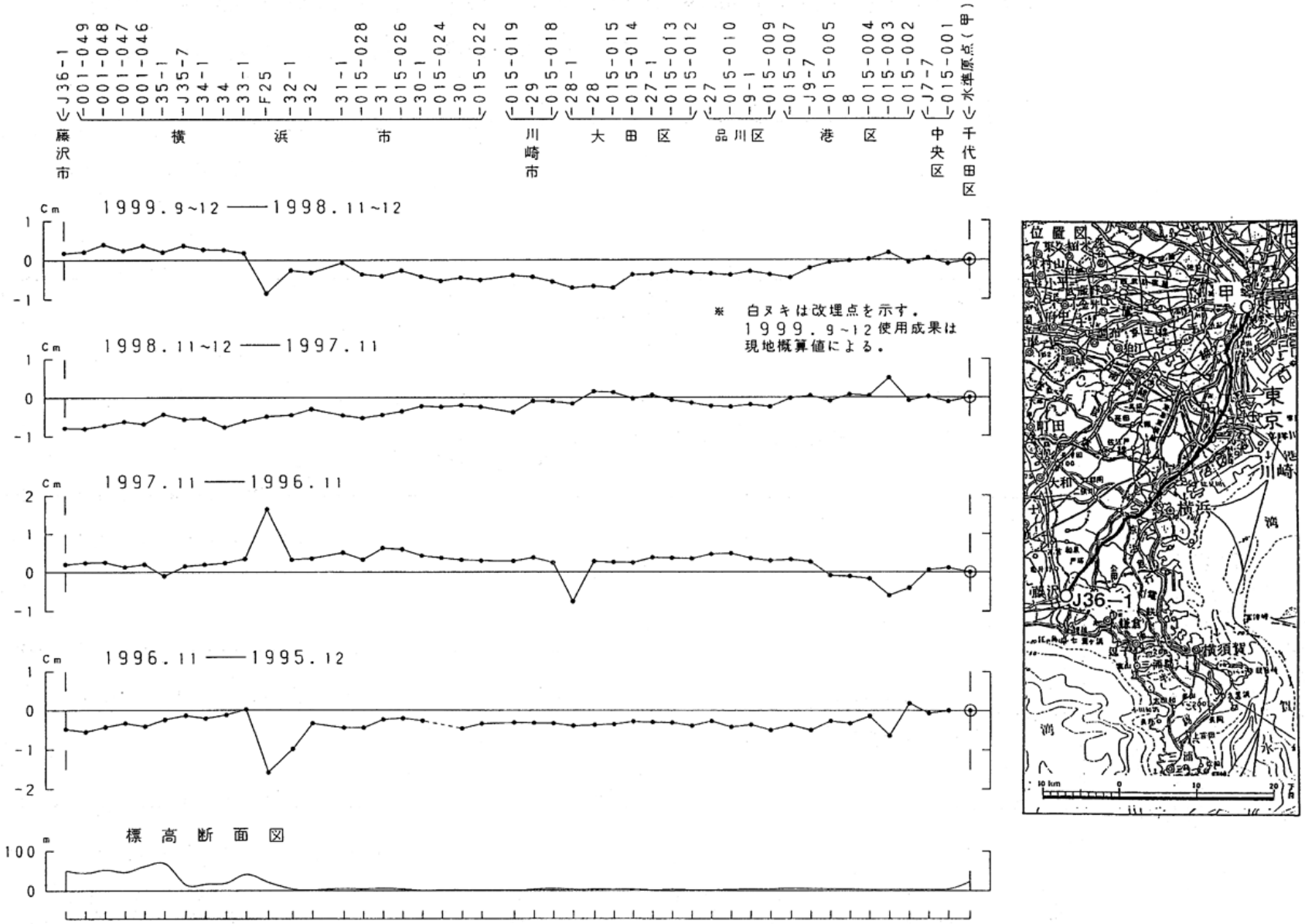
第 2 図および第 3 図は，水準原点を出発し，浦和市，越谷市，三郷市，市川市を経て船橋市に至る路線の水準測量結果である。最近の 1 年間で，特に大きな変動はない。

第 3 図は，船橋市から千葉市へ至る路線の水準測量結果である。最近の 1 年間で，特に大きな変動はない

第 4 図および第 5 図は，三浦半島の水準測量結果である。この 1 年間で大きな変動はない。また，第 6 図に示される三浦半島の経年的な沈降の様子も，最近特に傾向が変わった点は見られない。

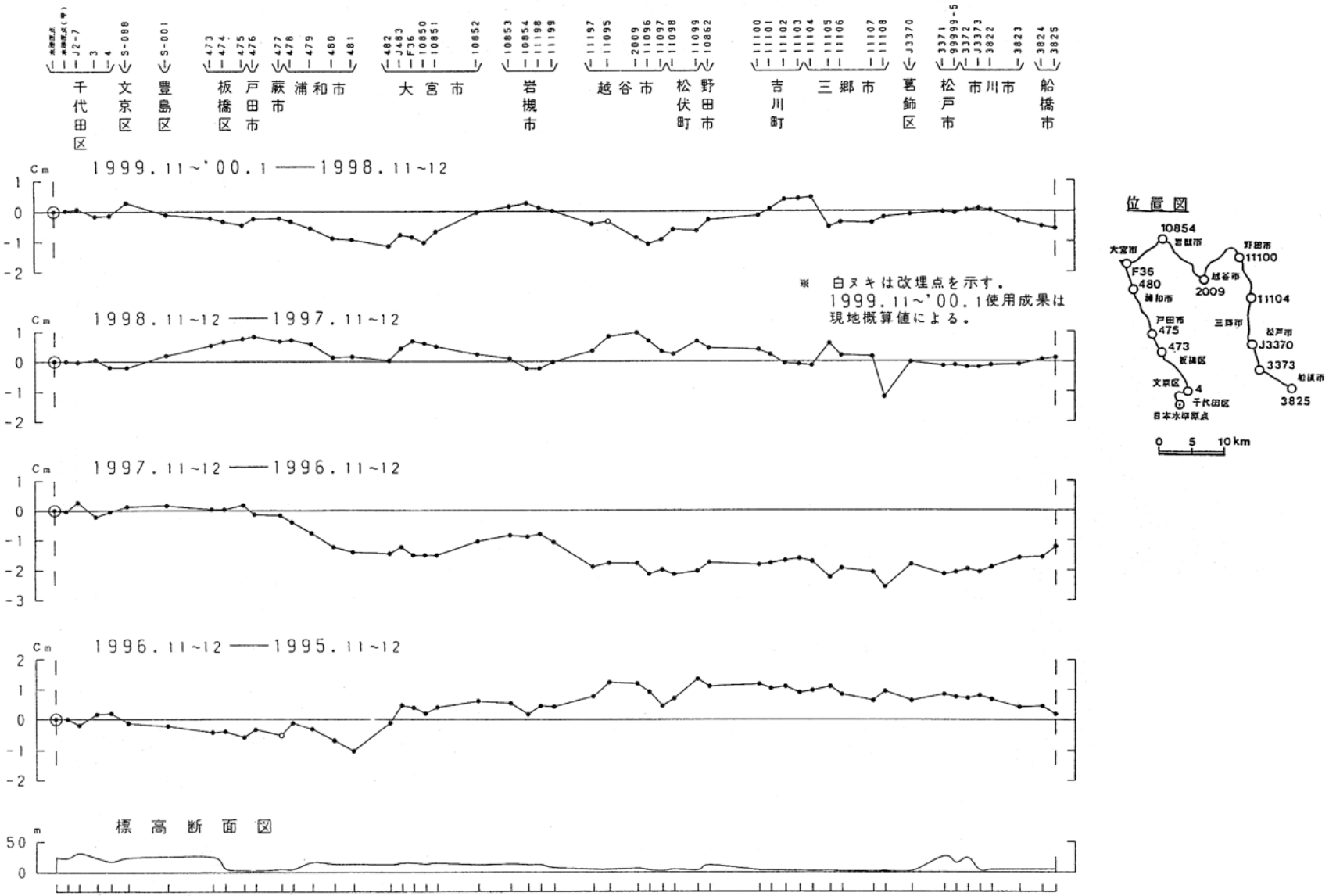
第 7 図は，関東地方の験潮場の月平均潮位差である。特に大きな傾向の変化は見られない。

第 8 図は，鹿野山精密辺長測量結果である。1995 年の破線で示す時点で鹿野山の器械点の場所が変更されており，データの継続性はないことに注意を要する。南北および北西－南東方向の基線はほぼ単調に縮んでいるが，東西基線は最近伸びに転じたようにみえる。原因はよくわからない。



第１図　藤沢～水準原点（甲）間の上下変動

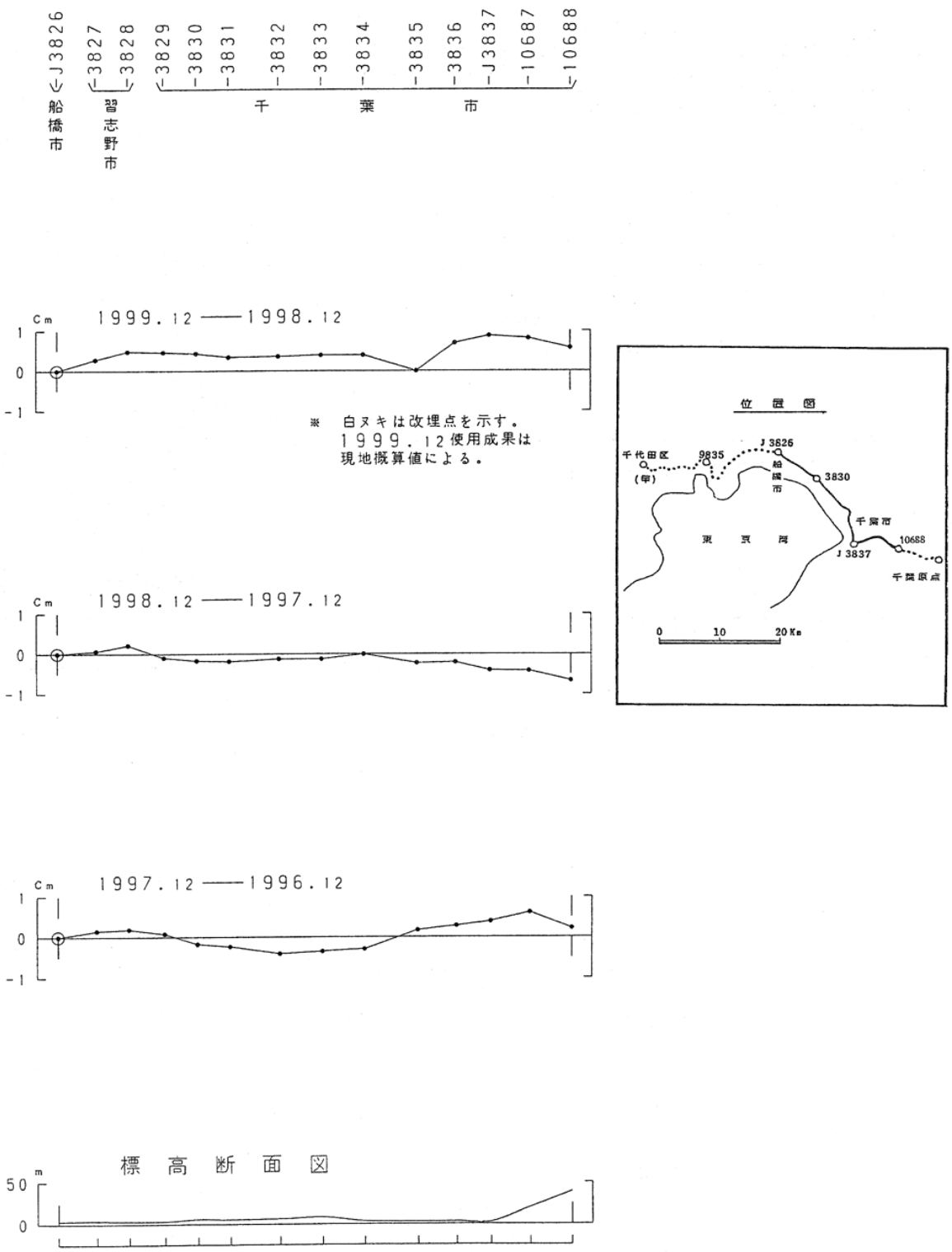
Fig.1　Results of precise leveling along the route between Fujisawa and Datum (Tokyo) .　数 値



第 2 図　水準原点～大宮～野田～船橋間の上下変動

Fig. 2　Results of precise leveling along the route between Datum (Tokyo) and Funabashi through Oomiya and Noda.

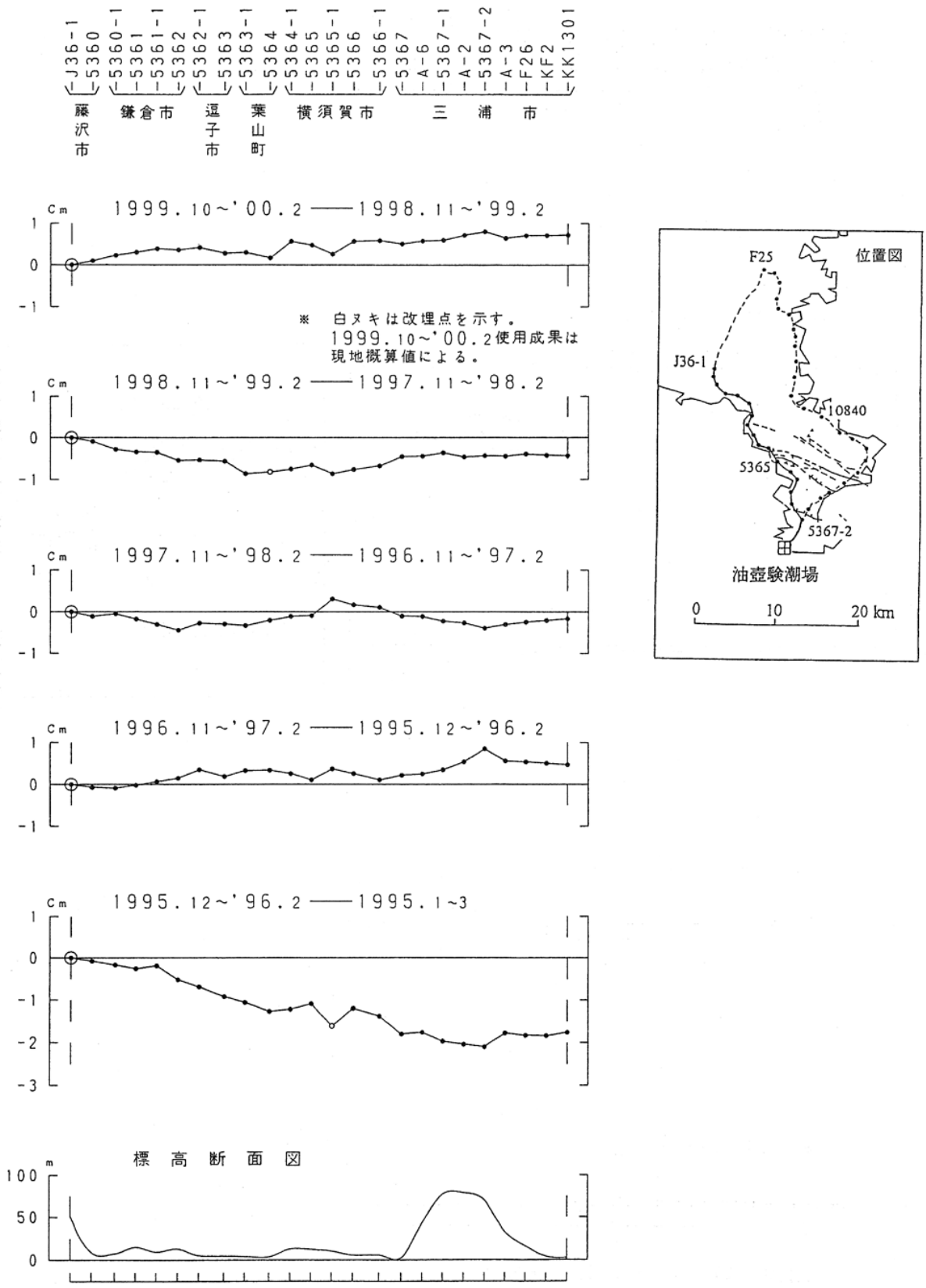
数値



第3図　船橋市～千葉間の上下変動

Fig.3　Results of precise leveling along the route between Funabashi and Chiba.

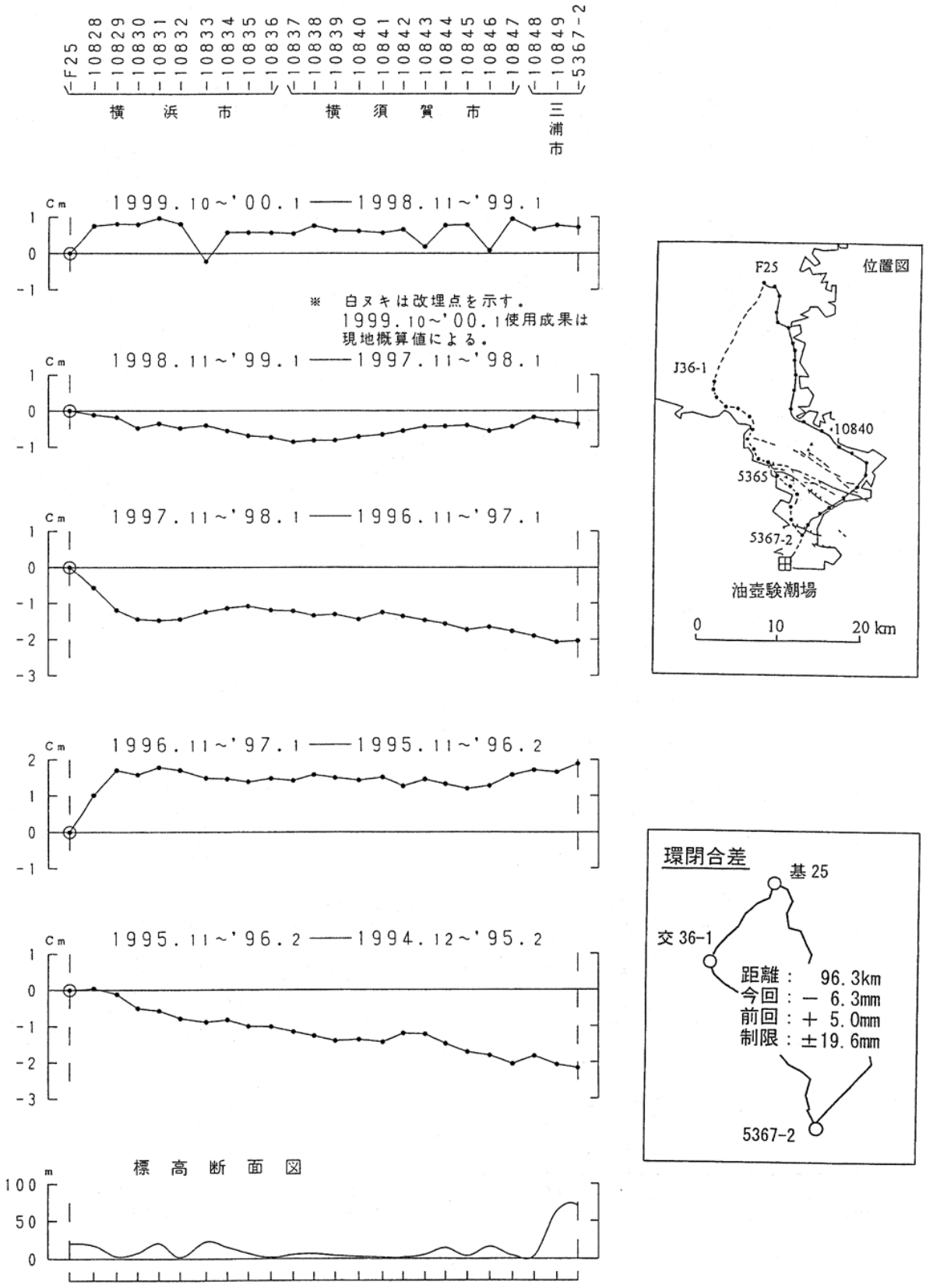
数値



第 4 図　三浦半島の上下変動（その 1）

Fig.4　Results of precise leveling in Miura Pneninsula (1 of 3).

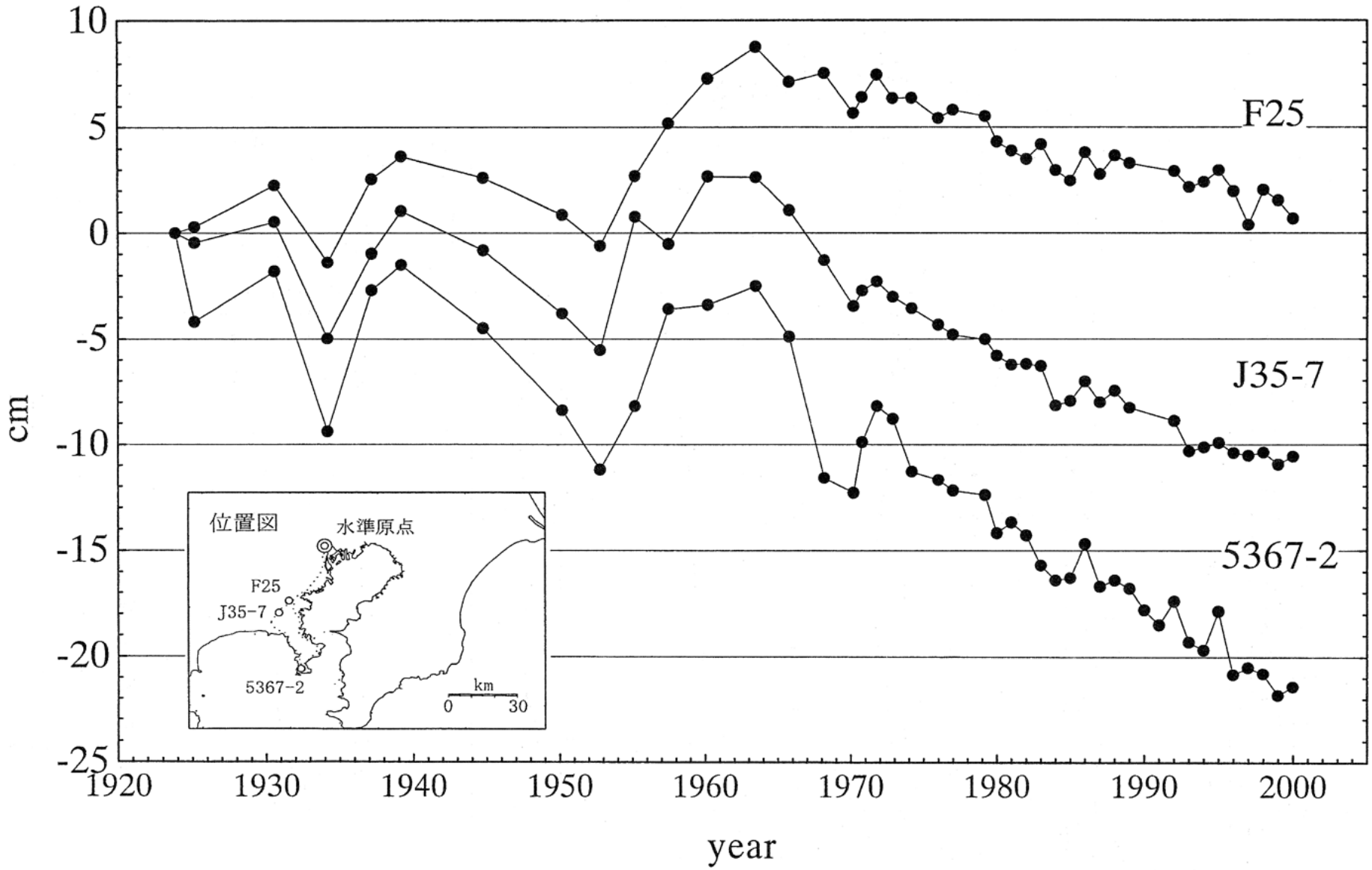
数 値



第 5 図　三浦半島の上下変動（その 2）

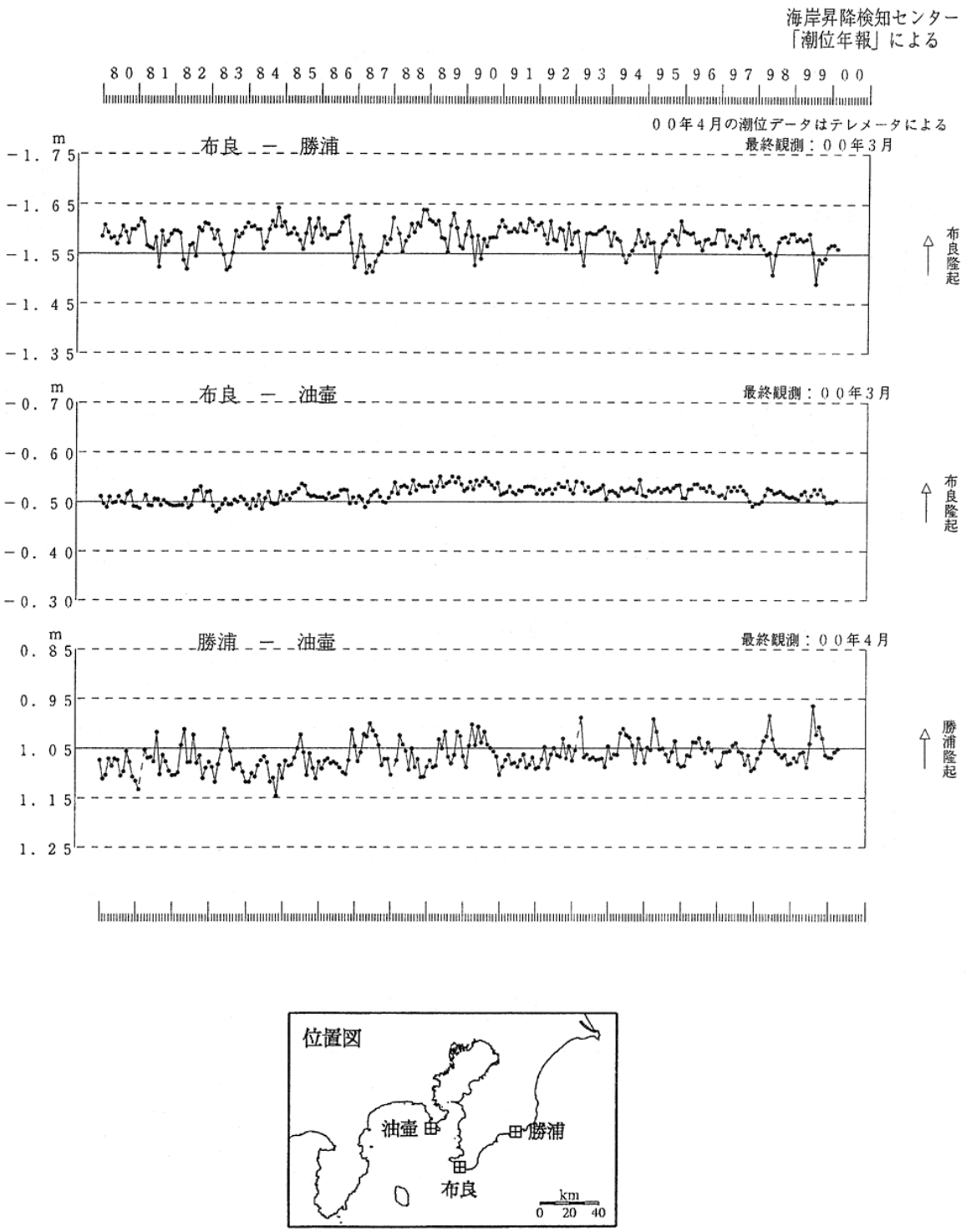
Fig.5　Results of precise leveling in Miura Pneninsula (2 of 3).

数 値



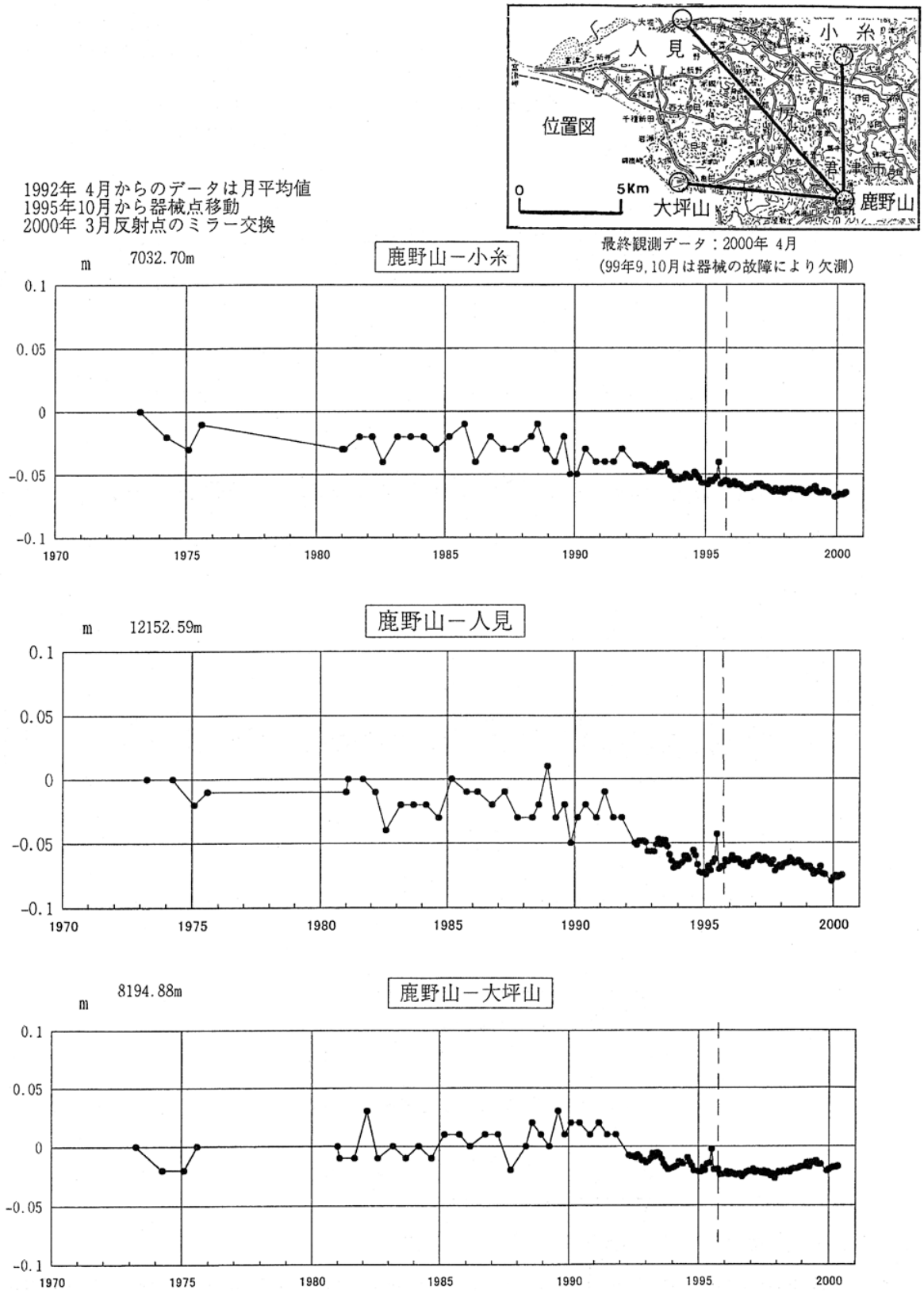
第 6 図　三浦半島の上下変動（その 3）

Fig.6　Results of precise leveling in Miura Pneninsula (3 of 3).



第７図　布良，勝浦，油壷各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 7　Differences of monthly mean values of sea level measured at 3 tide gauge stations in Kanto area.



第 8 図　鹿野山精密辺長連続観測結果

Fig.8　Results of precise distance measurements at Kanozan.